

法人の決意

- ・患者の多様なニーズに対応できる高度・専門的リハビリテーションを提供する
- ・急性期から回復期にかけての一貫した最適なリハビリを行い、多くの方が在宅復帰できるように支援する
- ・障害児（者）医療の提供・充実

取組項目

共通項目

- 地域医療連携室の強化
- ・3病院の地域医療連携室の共働
- ・在宅復帰支援の充実
- ・維持期リハビリテーションへの円滑な移行

リハビリテーションセンター

- 中核リハビリテーション施設としての充実強化を図る
- ・高次脳機能障害、脊髄損傷、摂食嚥下障害など多様な疾患に幅広く対応
- ・最新のリハビリ療法やロボットスツットの先進訓練機器・評価機器の導入
- ・摂食機能療法の実施
- ・急性期病院からの早期受け入れを可能とする医療体制の整備

- 人材の確保、養成
- ・リハビリテーション科専門医
- ・発達障害児に対応する小児科・児童精神科医師の確保
- ・認定看護師
- ・専門性の高いリハビリ療法を担うセラピストの養成

- 小児の発達障害の診療及びリハビリテーション
- ロコモティブシンドロームに関わる検診コースの整備

総合医療センター

- ・体制を強化し、365日リハビリテーションを実施する

西和医療センター

- ・体制を強化し、心臓リハビリテーションを実施・充実させる
- ・急性期における高次脳機能障害、言語障害、摂食嚥下障害に対する支援の充実・強化



大項目

I. 患者にとって最適な医療の提供

中項目

8. 高齢者を対象とした医療体制の整備

- ・県と協力してロコモティブシンドロームの認知度を上昇させる
- ・糖尿病の医療連携体制の充実

【期待する成果】

- ・3病院でのロコモティブシンドローム認知度を80%にする  
(H26年度以降は、病院で調査を実施)
- ・糖尿病専門医の確保、糖尿病専門診療科の設置

現状

- 平成42年までに運動器関連疾患の患者は急増する
- ロコモティブシンドロームの認知度  
H24年度 26.6%  
※日本整形外科学会「ロコモティブシンドローム生活者意識全国調査」より
- 政府は、健康日本21(第二次)において、H34年度ロコモティブシンドロームの認知度80%を目標にしている
- 県内で  
糖尿病が強く疑われる患者数 約101千人  
糖尿病の可能性が否定できない者 約149千人  
(H19厚生労働省 国民健康・栄養調査から推計)
- 県内に糖尿病専門医が少ない  
専門医数 奈良県 26名  
奈良病院 0名  
三室病院 0名  
※(社)日本糖尿病学会ホームページより(H25.11.11確認)

法人の決意

関節障害等をはじめとする筋骨格系疾患や、将来的に要介護リスクが高まる患者(ロコモティブシンドローム)への対応体制を整備する

取組項目

【運動器】法人内の病院における役割分担

ロコモティブシンドロームの認知度

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
調査実施	3病院での認知度を80%にする			
				80%

【運動器疾患】

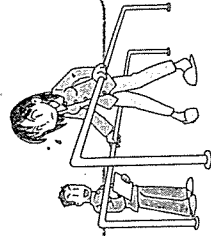
- 法人内の病院における役割分担
- 回復期・維持期の医療を提供する地域の医療機関との連携の強化
- ロコモティブシンドロームについて、関係機関、在宅医療提供機関との連携のコントロールドアワーとしての役割を担当

西和医療センター

- 運動器疾患への対応
- ロコモティブシンドローム専門外来を設置し、体制を充実させる
- 西和地域でのサテライト拠点におけるロコモティブシンドロームの普及・啓発

リハビリテーションセンター

- ロコモティブシンドロームにかかわる検診コースの整備





## 中期計画

### 法人の決意

糖尿病治療の拠点病院として、安心で良質な糖尿病の専門治療を提供する

### 取組項目

【糖尿病】チーム医療の活動強化  
人材の確保、養成  
地域の医療機関へのサポート

### 糖尿病専門診療科の設置

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
準備		専門診療科 の設置		

### 共通項目

- チーム医療の活動強化
- 人材の確保、養成
- 糖尿病治療を担う人材の確保
- ・ 糖尿病専門医
- ・ 糖尿病看護認定看護師
- ・ 糖尿病療養指導士
- 地域の医療機関へのサポート
- 専門的治療、慢性合併症治療、初期・安定期治療を担う医療機関との連携強化

### 総合医療センター

- ・ 糖尿病の急性合併症、急性増悪時の患者を受け入れる
- ・ 糖尿病サポートチーム・キドニースポーツチーム・フットケア外来・チーム医療の充実を図る

### 西和医療センター

- ・ 高齢者の糖尿病性壊疽及び下肢閉塞性動脈硬化症のための下肢創傷治療体制の確立

### リハビリテーションセンター

- ・ フットケア外来の充実を図る

大項目

I. 患者にとって最適な医療の提供

中項目

9. 医療安全・院内感染の防止

医療安全管理体制を整備する

【期待する成果】

患者満足度「安心して医療を受けられたか」

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
入院	85%		常に前年度より改善させる			100%に近づける

患者満足度「安心して医療を受けられたか」

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
外来	75%		常に前年度より改善させる			100%に近づける

現状

○病院ごとに医療安全対策を実施

インシデント発生件数(レベル0～1)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
総合	1,326件	1,260件	1,175件	941件
西和	941件	871件	841件	—
リハ	—	—	162件	—

アクシデント発生件数(レベル2～5)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
総合	62件	72件	45件	—
西和	34件	23件	14件	—
リハ	—	—	0件	—

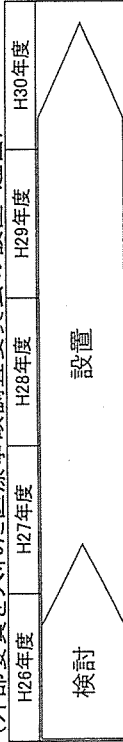
法人の決意

医療安全・院内感染防止対策を徹底する

取組項目

- ・法人における医療安全管理体制の確立  
(外部委員を入れた医療事故調査委員会の設置・運営)
- ・3病院合同の事例検討発表会の実施

法人における医療安全管理体制の確立  
(外部委員を入れた医療事故調査委員会の設置・運営)



- 新病院の機能充実に向け計画的に取り組む
- 院内における医療安全対策体制の見直し
  - ・安全対策委員会の開催
  - ・医療事故、トラブル事例の調査・報告、調整会議
  - ・医療事故調査委員会等の設置
- インシデント・アクシデントに係る調査、分析、防止対策
  - ・医療安全部会における、調査、分析、情報の周知及び事例検討の実施
  - ・死亡例全例及び重大合併症を対象とした検討会を多職種参加で定期開催(毎月1回)
  - ・警鐘事例は3病院合同検討会開催(年1回)
- 医療相談
  - ・各部署における医療安全管理に関する相談・助言(メディエーター的役割として)
- 院内感染に係る調査、研究、予防対策
  - ・院内感染の発生原因の究明
  - ・防止対策の確立
  - ・3病院で院内感染対策サーベイランス(JANIS)に参加
  - ・感染に関する研究会の開催
- 病院機能評価の取得(再掲)

# 中期目標

## 大項目

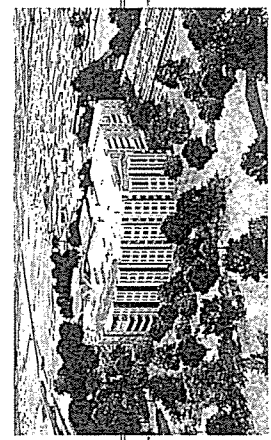
I. 患者にとって最適な医療の提供

## 中項目

10. 新病院整備の推進

### 【期待する成果】

- ・平成28年度中、新総合医療センター完成
- ・新西和医療センターの整備
- ・看護専門学校統合校の整備
- ・3病院共通の電子カルテシステム構築



## 現状

- 新総合医療センター
  - 平成25年秋頃 造成工事着手
  - 26年秋頃 建築工事着手
  - 28年度中 完成予定

# 中期計画

## 法人の決意

新病院の機能充実に向け計画的に取り組む

## 取組項目

### 新総合医療センターの整備

H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
		計画的に準備	H28年度中 完成予定	開院	

### 新西和医療センターの整備等

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
方針決定	調査	計画	設計	

### 看護専門学校統合校の整備

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
設計	工事・完成		開校	

### 3病院共通の電子カルテシステム整備

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
検討	設計	システム構築	稼働	

- 医師、看護師等の計画的な人材確保
- 運営計画、機器選定について計画的に準備
- 電子カルテシステムの整備(マイ健康カードのモデル実施)

大項目

II. 県民の健康維持への貢献

患者にとっても最適な医療を提供するため、県内の医療機関との連携を積極的に推進する  
 ・地域医療連携パスの運用促進に貢献する

法人の決意

中項目

1. 県内の医療機関との連携・協体制の充実

【期待する成果】

紹介率

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	52.3%					80.0%
西和	66.1%					

常に前年度より改善させる

逆紹介率

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	74.4%					80.0%
西和	77.8%					

常に前年度より改善させる

取組項目

- ・地域医療支援病院としての機能強化
- ・退院調整会議の充実
- ・地域包括支援センターとの連携強化

退院調整会議の開催・回数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	3病院				
西和	共通の				
リハ	定義設定				

開催

倍増

地域医療支援病院として地域医療機関の医療従事者向け研修会の実施回数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	12回					12回以上開催
西和	6回					

毎年12回以上開催

現状

- 地域医療支援病院の指定を受けている
  - 逆紹介率 74.4%
  - 紹介率 52.3%
  - 【西和医療センター】 66.1%
  - 【西和医療センター】 77.8%
- 地域医療連携パス
  - ◆ 脳卒中地域連携パス
    - ・パス発行状況 265件 (H24.2末～H25.3末)
    - ・参加医療機関
      - 急性期 15
      - 回復期 25
      - 維持期 14 (H25.3.31現在)
  - ◆ がん地域連携クリティカルパス 運用件数 112件 (H24年度実績)
  - ◆ 虚血性心疾患地域連携パス (中南和地域を中心に運用)
    - ・パス発行状況 67件 (H23.7～H25.1末)
    - ・参加医療機関 131 (H25.6.4現在)

- 地域医療支援病院としての機能強化
  - ・3病院の地域医療連携室の機能強化
  - ・3病院の地域医療連携室の共働
  - ・地域医療連携パスの運用促進
  - ・地域の医療機関との連携のさらなる強化
  - ・地域医療機関の医療従事者向けの研修会の開催
- 地域包括支援センターとの連携強化
  - ・在宅医療への支援
  - ・保健師との交流、情報共有

## 中期目標

### 大項目

## Ⅱ. 県民の健康維持への貢献

### 中項目

### 2. 県内の医療レベル向上に向けた支援

【期待する成果】

県が設置する地域医療支援センターによる医師派遣機能等の一翼を担うこと

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
医師・看護師等の確保・養成		派遣ルールの確立		実施

県内の医療機関の医療従事者の短期・長期研修等受け入れ

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
受入準備	試行	本格実施		

### 現状

○ 地域医療機関の医療従事者の研修会参加者数

H24年度	総合医療センター	150人
	西和医療センター	68人

## 中期計画

### 法人の決意

- ・ 教育研修センターの充実
- ・ 県内の医師や看護師等医療従事者の資質向上を支援する

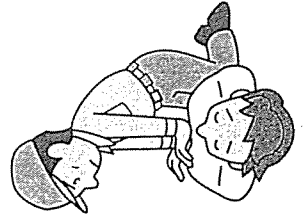
### 取組項目

- ・ 教育研修センターにおいて県内の医療機関に開放した研修の実施
- ・ 県内の医療機関への施設・設備の開放

○ 県内の医療レベルの向上に向けた支援  
教育研修センターの充実

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
新病院の研修施設の整備		充実した研修の実施		
研修のさらなる充実				

- ・ 県内の医療機関の医療従事者への研修機会の提供
- ・ 県内の医療機関の医療従事者の短期・長期研修等受け入れ
- ・ 救急救命士の病院実習の受け入れ  
(生涯教育実習・気管挿管実習・薬剤投与実習)
- ・ 県内の医療機関の医療従事者への研修棟の設備、医療機材の利用促進
- ・ 潜在看護師への研修の実施



大項目

Ⅱ. 県民の健康維持への貢献

中項目

3. 災害医療体制の強化

【期待する成果】

災害発生時の受入・派遣要請に応じる

- ・ 災害発生時の受入体制の強化
- ・ 災害発生時のスムーズな医療スタッフの派遣

現状

- 災害拠点病院の指定を受けている [総合医療センター]
- 災害派遣医療チームが整備されている
- 医療救護班の派遣体制が整備されている
- 新型インフルエンザ等感染症の受入体制はできているが入院体制は不十分である

【県内全災害拠点病院におけるDMATチーム整備数】  
H25.1現在 11チーム

※出典:奈良県保健医療計画(H25.4)

法人の決意

- ・ 災害時においても病院機能を維持し、受入体制を拡充する
- ・ 他地域での災害に備えた災害医療派遣体制を充実させる

取組項目

- ・ 災害対応体制の充実
- ・ 人材の育成
- ・ 災害発生時における県との円滑な連携
- ・ 新病院における感染症病床の整備、受入体制の構築

訓練実施回数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	3回	3回	3回	3回	3回	3回
西和	0回	3回	3回	3回	3回	3回
リハ	—	—	2回	2回	2回	2回

DMAT要員の配置人数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	15人	16人	20人	20人	20人	20人

共通項目

- 災害対応体制の充実
  - ・ 災害を想定した3病院合同訓練の実施(年2回)
  - ・ 災害時を想定した構造設備、スペースの確保
  - ・ 地域の中核病院として、災害発生時の受入体制の強化
  - ・ 危機管理マニュアルの充実
  - ・ 災害時に備えた診療材料・医薬品等の必要物品・備品の備蓄及び定期点検
  - ・ 災害研修の実施
- 人材の育成
  - ・ トリアージのできる人材の育成

総合医療センター

- ・ 災害拠点病院としての機能強化
- ・ 専門性の高いスタッフ(DMAT等)の配置、育成
- ・ DMATを常時2チーム派遣できる体制の整備
- ・ ドクターヘリ等で搬送される重症な患者の積極的な受け入れ
- ・ 新病院における感染症病床の整備、受入体制の構築(感染症病床 6床整備)

西和医療センター

- ・ DMAT体制の整備